



2019年11月15日

ロサンゼルスモーターショー2019 出展概要

- アウディ スタンドで2台のニューモデルをワールドプレミア
- **Audi e-tron Sportback** : 量産モデルがデビュー
- **Audi RS Q8** : ハイパフォーマンスかつ高効率
- ワールドプレミアイベント（日本時間 11月20日(水)午前11時）をライブ配信

2019年11月14日 インゴルシュタット/ロサンゼルス:電動化攻勢をさらに加速させているアウディは、ロサンゼルスモーターショー2019で、電気自動車 Audi e-tron Sportback の量産モデルを発表します。全長4.90mのこの4ドアモデルは、大型クーペのエレガントなスタイルと、電気自動車の先進的なキャラクターを融合させています。

Audi e-tron Sportback は、量産車としては初めて採用される、革新的なデジタルマトリクスヘッドライトを特徴としています。これらは数百万個のマイクロミラーを使用することにより、かつてない高い精度で車両前方の路面を照らし出します。Audi e-tron Sportback は、電動SUVのAudi e-tron とパワートレインを共有し、同じブリュッセル工場で生産されます。このニューモデルは、現地時間の2019年11月19日午後6時（日本時間：11月20日(水)午前11時）から開催されるプレビューイベントで発表されます。**AUDI AG** のソーシャルメディアチャンネルと **Audi MediaTV** (www.audimedia.tv) では、ワールドプレミアの様態をライブで見ることができます。

Audi Sport GmbHはロサンゼルスで、Qモデルラインナップの頂点に君臨するAudi RS Q8を世界初公開します。V8 ツインターボエンジンを搭載したAudi RS Q8は、圧倒的なパフォーマンスを提供すると同時に、並外れた効率も備えています。これは、48V電源を使用するマイルドハイブリッド(MHEV)システムによって実現しました。ベルト駆動式オルタネータースターターにより、Audi RS Q8は、最大12kWの電力を回生して、リチウムイオンバッテリーに蓄えることができます。その結果、55~160km/hの範囲において、エンジンを停止させて最大40秒間コースティング(惰性走行)が可能です。このエンジンは、中間負荷領域でシリンダーを一部休止する機能も備え、さらなる効率化を達成しています。

Audi e-tron Sportback と Audi RS Q8 は、11月20日(プレスデイ)から開催されるロサンゼルスモーターショー2019のアウディ スタンドに展示されます。

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。